

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部
2018. 11. 30 NO. 6

2学期の大きな行事の一つ、1～2年生の秋の現場実習が先日無事に終了しました。保護者の皆様には、実習先への挨拶や下見、日々の送り出しや体調管理などのフォロー、日誌の記入など、生徒の実習がうまく運ぶようにご配慮いただきまして、ありがとうございました。生徒達には2週間の経験を今後の学校生活に生かし、自らの進路を切り開いてほしいと思います。

1年生の現場実習の様子

初めての現場実習となった1年生、現場実習では力を発揮できたでしょうか。下のチェック表を確認してみましょう。



	チェック表	○×
1	遅刻・欠勤なく、2週間実習に行くことができた	
2	あいさつ・返事を大きな声でしっかりすることができた	
3	始業時間や休憩時間の時間を守ることができた	
4	メモをとることができた	
5	何をすればいいか分からないときは自分から質問できた	

1年生の現時点で、最低限これだけは出来ていて欲しいことを5つ挙げました。この5つのうち1つでもできていない人は、まだまだ働く力が付いていないということです。4月に入学してから様々なことを学んできたと思いますが、それを現場で発揮するには至っていないということです。1つでも×が付いた人は、危機感をもって今すぐ変わろうと思ってください。自分の課題を自覚し努力していくしかありません。今回の現場実習で、気持ちのよい挨拶を担当者だけでなく、誰に対してもすることができた1年生が何人いたでしょうか。気持ちよい挨拶を自分からできた1年生もいましたが、残念ながらできなかった生徒も多くいたようです。では、先輩の2年生はどうでしょうか。1年の差は大きいもので、感

心するほど素晴らしい挨拶をしている2年生の生徒がたくさんいました。声も大きく、ハリがあり、働く意欲が伝わってくるいい挨拶です。実習先の方からも、気持ちよい挨拶や礼儀正しさをほめてもらいました。

1年生の皆さんも来年の秋の現場実習では今年の2年生のように、将来の雇用につながる可能性のある企業へ実習に行く生徒も出てくると思います。今のままで大丈夫かどうか、自分を厳しく見つめて欲しいと思います。まだまだ時間のある1年生ですから、今後の成長に大いに期待しています。またその期待に応えられるだけの力は持っている生徒たちだと思っています。実習が終わってほっと気を抜くのではなく、課題が明確になったと気を引き締めて、将来自分たちが困らないように力をつけていってください。そして、今後就労のチャンスが早い時期に来た場合でも、自信を持ってチャレンジ出来るように、土台となる基礎を今のうちにしっかり築いてください。まだまだ先と思っているかもしれませんが、思っているほどには時間が無いのが昨今の就職活動です。2年生の現場実習の様子もよく読んで来年に備えていってください。

2年生の現場実習の様子

2年生はグループではなく、初めて1名～2名で実習に臨みました。今回の2年生の実習では、地元の実習に行く生徒が例年よりも多くなり、昨今の法定雇用率引き上げの好ましい影響を感じております。これまで学校で学んできたことを実習でも実践できた生徒が多く、実習先からも概ねよい評価をいただいています。あくまでも「2年生として見れば」の評価ではありますが、就職するための力を順調につけつつあると認められることは非常に嬉しいことです。来年度の結合実習のお誘いを今後いただく生徒も出てくると思われます。2年生のこの時期に、自分の将来を決めることは簡単なことではないと思います。しかしながら、来年、同じ話があるとは限りません。今回お話を断っても、3年次にまた別のいいお話があるかもしれませんし、あのお話が一番よかったと思うことがあるかもしれません。いつ誰にどんな結合のお話があるかは誰にも予測できないことです。毎年思うことですが、企業とのお話は本当に縁のものです。優秀な生徒に結合のお話が早く来る訳ではありません。生徒の特性や居住地など、本人の努力や能力とはまた別の条件が合致した結果、結合実習のお

話が舞い込んでくることもあります。しかし、いざ結合実習となれば、その合否を決めるのは本人の意欲と力量です。いつどんなお話がいつ誰に来るのか、確実なことはだれにも分からないのです。だからこそ自分にチャンスが巡ってきたときには、自己決断と自己責任で心を決めてほしいと思っています。好きな仕事があなたに向いている仕事とは限りません。苦手だと思っていた仕事でも、周囲の方のサポートや作業方法など企業のやり方が自分にぴったり合う場合もあります。今までの印象だけで判断するのではなく、家族や先生のアドバイスもしっかり聞いて判断してほしいと思っています。長く続けられる仕事を選んでこつこつと真面目に働いてほしいと思っています。

2年生の皆さんは2月に進路相談(本人・保護者・担任・進路指導部)を行います。そこで就労を希望するのか、それとも福祉就労を希望するのか、訓練校を目指すのかなど、具体的に今後の進路について話し合います。ご家庭でも就労を目指すならどんな職種を希望するのかなど、本人の希望と保護者の希望について十分に話し合っておいてください。本人と保護者の意見が異なることもあると思います。それも正直に進路相談で話していただいで大丈夫です。しかし、本人と保護者の思いを双方が分かっていないということがないように、ご家庭でしっかり話し合っって進路相談に臨んでいただきますようお願いいたします。希望職種や課題などを共通理解し、3年生の進路活動に取り組んでいきたいと思っております。なお、進路相談の詳細につきましては、個人懇談の際に担任からご説明します。

3年生の就職活動

3年生の就職活動は3年生になったと同時にスタートして長期に及びます。現在も結合実習に挑戦している人、実習を終えて結果を待っている人、面接に臨んでいる人、結合のお話を待っている人と、様々な状況にいます。年の瀬が近づいてくると、今までに増して隣の人の進路状況が気になるかも知れませんが、落ち着いて自分の進路をしっかりと見つめ、今できること、今やるべきことを一生懸命頑張りましょう。

また一番気をつけなければならないのは、すでに進路が決定した生徒達でしょう。気の緩みはありませんか？内定をいただいてホッとする気持ちは分かります。しかし内定はあくまでも内定です。スタ

ートラインにたつことが許されただけにすぎないということを忘れないでください。内定が決まった位で気が緩んでしまっているようでは、働きだしてからのことが心配でなりません。これから自分はどう働いていくのか、どう生きていくのか、そのためには今何をしなければならないのか。「内定＝ゴール人間」にならないように、しっかり地に足をつけて残された時間を有意義に使って、社会人になるための資質を養って行ってください。

～兵庫県特別支援学校技能検定 ビルクリーニング部門（報告）～

夏休み中に、兵庫県特別支援学校技能検定が行われ、本校からはビルクリーニング部門に、2年生2名、3年生4名の計6名が受験しました。

検定級には1～10級が設定されており、テーブル拭きは25項目、ダスタークロスとモップは29項目について1つ1つ十分にできているか厳しく審査されます。1級を取るためには、1つの項目もミスをしないことが求められます。1つでも十分でないと判断された項目があれば2級となるなど審査は厳しく、1～3級が上級とされています。挑戦した6名の生徒は、意欲的に練習に参加し、検定当日も力を発揮して頑張りました。

ダスタークロス	1級1名	3級2名	4級3名	
テーブル拭き	2級1名	3級3名	4級1名	5級1名
モップ	2級2名	3級2名	*受験者3年生4名のみ	

